

1. データサイエンス最前線！ データに基づく意思決定のしくみ



開講日程	対面	6月7日(土)から6月28日(土)まで 毎週土曜日 全4回	
	時間	10:00 ~ 11:30	
	対面会場	新潟大学駅南キャンパス ときめいと 講義室 A 新潟市中央区笹口1丁目1番地 プラーク1 2階	
YouTube 配信		—	
受講料		4,400円 ※ 学生(大学生以下)は無料です	
募集人数		30人 先着順	申込締切 6月4日(水)

講座の概要

機械学習・AI技術の発達で定量データの分析が比較的容易になった一方で、主観的・感覚的な定性データを数理に埋め込むことが理論及び倫理面での課題となっています。数理的に正しくても x 、 y 、 z をそのまま使ったのでは理解し難く、実装にむけた合意形成が滞ってしまいます。かといって人為的な手法に偏っては根拠が弱まり、ともすると捏造改ざんになりかねません。

この講座では次の3つの内容を通じて、数理と人為の関りについて理解を深めます。

1. 課題設定とデータ分析を紐づける数理的意味決定手法(オペレーションズ・リサーチ)
2. AI技術で用いられる人間によるフィードバック(RLHF、アノテーション)
3. データサイエンスの成果物の説明可能性(学習モデル、潜在意味空間、可視化)

	日程	講義題目	講義内容	講師
第1回	対面 6月7日(土)	オペレーションズ・リサーチの概要	オペレーションズ・リサーチ(数理最適化、OR)の歴史と実社会における必要性について、できる限り数学を使わずに解説します。	自然科学系(理学部) 教授 山田 修司
第2回	対面 6月14日(土)	様々な意思決定手法	物流や商品の生産など具体的な事例を考え、事例ごとの意思決定手法について、できる限り数学を使わずに解説します。	自然科学系(理学部) 教授 山田 修司
第3回	対面 6月21日(土)	AIの学習プロセスと人間によるフィードバック	人間の直感や経験が数理モデル・AIの学習プロセスにどのように影響を与えるかを考察します。	自然科学系(工学部) 特任准教授 齋藤 裕
第4回	対面 6月28日(土)	データサイエンスにおける「説明可能性」	データサイエンスによる成果物(課題解決提案等)をどのように解釈し他者へ説明すべきかについて検討します。	自然科学系(工学部) 特任准教授 齋藤 裕

講師の所属および職名は令和7年4月1日現在のものです

■ 対面会場では、職員が受講風景の写真撮影を行う予定です。

撮影した写真は、新潟大学公開講座の広報(募集案内、HP等)および学内での実施記録用にのみ使用します。

使用する写真は、横や後向き、顔が小さく写っているもの等とし、明らかに個人が判別できるものは使用しません。

写真の撮影、使用について同意いただけない場合は、下記【お問い合わせ】までご連絡ください。

※ 発熱や倦怠感、咳などの症状がある場合は、対面の出席をご遠慮願います

▲ WEB申込フォームからお申込みいただくと、受講申込受付メール(自動送信)が届きます。

受付メールが届かない場合、メールアドレスの誤入力や送信トラブルが考えられますので、下記【お問い合わせ】まで連絡をお願いします。

・本講座は、令和6年度の「データサイエンス最前線！データに基づく意思決定のしくみ(対面講座)」と同様の内容になります。

【お問い合わせ】

新潟大学 研究企画推進部 社会連携課 〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

☐ koukai@adm.niigata-u.ac.jp ☎ 025-262-7633 FAX 025-262-7513

新潟大学公開講座ホームページ <https://www.niigata-u.ac.jp/contribution/learning/open-learning/>



WEBから
お申し込み
できます